

2022 **会 告** No.3

◇通知・案内事項

○化学工学会第87年会 概要……………本号3ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会	3/16～18(神戸大学)	
◇秋季大会	9/14～16(信州大学)	
◇支部大会		
◇学生発表会	3/5(オンライン)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2022年3月 March			
2	最近の化学工学講習会70「進化するファインバブル技術と応用展開」(3/2, 3/7)(オンライン)		11号12
4	第22回プラント保全研究会(広島県)		2号7
5	第24回化学工学会学生発表会(オンライン)		2号7
7	第18回キンカ高分子化学研修コース(オンライン)		1号8
15	第22回反好会(反応工学会若手会)講演会(オンライン)	3月8日(火)	本号10
16～18	化学工学会第87年会(兵庫県)		本号3
28	Chemical-Energy-Car Competition 2022(オンライン)		2号7
2022年7月 July			
2	第59回化学関連支部合同九州大会(福岡県)	4月8日(金)	本号10
2022年9月 September			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月16～18日	International Chemical Engineering Symposia 2022 (IChES 2022) (兵庫県)		本号8
6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021(PSE 2021+) (京都府)		6号8
8月中旬で調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第30回成形加工テキストセミナー 第4巻「先端成形加工技術I」(東京都/オンライン)	3月2日(水)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/

腐食防食部門委員会第341回例会(オンライン)	3月2日(水)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimmu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
21-1 高分子と水・分離に関する研究会 2021年度界面動電現象研究会(オンライン)	3月4日(金)	高分子学会 高分子と水・分離に関する研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) info-colloid@ml.cc.tsukuba.ac.jp https://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/water.php
第14回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム／第15回プラズマナノ科学技術国際会議 (ISPlasma2022／IC-PLANTS2022)(愛知県)	3月6～10日(日～木)	公益社団法人 応用物理学学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2022@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
生産システム部門研究発表講演会2022(オンライン)	3月7～8日(月～火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/msd/html/99/kouen22-6.html
第15回日本化学連合シンポジウム 「持続可能な社会構築のための見分ける化学, 分ける化学」(オンライン)	3月8日(火)	日本化学連合	03-3292-6010 (03-5577-3235) watanabe@jucst.org http://www.jucst.org
日本膜学会講演会～二酸化炭素分離膜開発の最新動向と今後の展望～(オンライン)	3月10日(木)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html
表面科学セミナー2022(実践編)(オンライン)	3月10～11日(木～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/06/detail.php?eid=00013
第7回理論応用力学シンポジウム -力学のさらなる発展に向けて-(東京都)	3月11日(金)	日本学術会議 理論応用力学分科会	03-5841-6286 takagi@mech.t.u-tokyo.ac.jp https://www.scj.go.jp/ja/event/index.html
機械学習×熱・流体工学の最先端(オンライン)	3月14日(月)	日本機械学会	03-4335-7620 (03-4335-7618) t.shinohara@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/22-15/
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows(オンライン)	3月15～17日(火～木)	The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows 実行委員会	03-3259-0750 (03-3293-8254) kimura.motoaki@nihon-u.ac.jp http://www.mech.cst.nihon-u.ac.jp/ICJWSF2022/
第56回日本水環境学会年会(オンライン)	3月16～18日(水～金)	公益社団法人 日本水環境学会	03-3632-5351 (03-3632-5352) nenkai@jswe.or.jp https://www.jswe.or.jp/event/lectures/2021per.html
第36回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会(東京都)	3月23～25日(水～金)	一般社団法人 エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) taikai36@jiep.or.jp; info@jiep.or.jp https://web.jiep.or.jp/event/convention/jiep2022s/index.php
熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用(東京都)	3月24日(木)	日本冷凍空調学会 デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会	092-583-7832 (092-583-7833) tmiyazak@kyudai.jp https://www.jsrae.or.jp/info/20220324DEsemi.pdf
第129回 触媒討論会 特別シンポジウム(京都府／オンライン)	3月29日(火)	一般社団法人触媒学会	03-3291-8224 (03-3291-8225) secretariat@catsj.jp https://catsj.jp/wp/wp-content/uploads/2021/12/129th_sympo.pdf

第39回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月12～13日 (火～水)	公益社団法人日本 空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp http://www.jaca-1963.or.jp/
第55回空気調和・冷凍連合講演会(オンライン)	4月20～21日 (水～木)	公益社団法人日本 冷凍空調学会, 公 益社団法人空気調 和・衛生工学会, 一般社団法人日本 機械学会 3 団体共 催	03-5623-3223 (03-5623-3229) y.uda.pa@jsrae.or.jp https://jsrae.or.jp/info/3rengo-220420- 21_no.55.html
酵素工学会第87回講演会(京都府)	4月22日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.jsee87.enzyme-eng.com
JST 戦略的創造研究推進事業 ERATO 野崎樹脂分解触媒プロジェクト キックオフシンポジウム ーケミカルリサイクルのための樹脂分解触媒 開発ー(東京都)	4月28日(木)	ERATO 野崎樹脂 分解触媒プロジェ クト	080-3572-2646 araki-eiichi1379@g.ecc.u-tokyo.ac.jp https://www.jst.go.jp/erato/nozaki
2022 International Conference on Electronics Packaging (ICEP 2022) (北海道/オンライン)	5月11～14日 (水～土)	一般社団法人エレ クトロニクス実装 学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) icep2022@jiep.or.jp http://jiep.or.jp/icep/index.html
第59回日本伝熱シンポジウム(岐阜県)	5月18～20(水～金)	公益社団法人日本 伝熱学会	058-293-2532 (058-293-2532 or 2491) symp2022@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2022/index. html
第243回西山記念技術講座 「基礎から振り返る先端鉄鋼材料学」(東京都)	5月20日(金)	一般社団法人 日本 鉄鋼協会	03-3775-9533 (03-3775-9534) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/ nishiyama243.html
第2回マルチスケールマテリアルモデリングシンポジウム (第7回マルチスケール材料力学シンポジウム)(大阪府)	5月29～31日 (日～火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第244回西山記念技術講座 「基礎から振り返る先端鉄鋼材料学」(オンライン)	6月3日(金)	一般社団法人 日本 鉄鋼協会	03-3775-9533 (03-3775-9534) educact@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/ nishiyama243.html
第33回年次大会(東京都)	6月15～16日 (水～木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
第34回バイオエンジニアリング講演会(福岡県)	6月25～26日 (土～日)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7610 bioconf22@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/ bioconf22/index.html
第59回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月6～8日(水～金)	(公社) 日本アイソ トープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第32回環境工学総合シンポジウム2022(香川県)	7月7～8日(木～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7615 kankyosympo2022@jsme.or.jp https://confit.atlas.jp/env22
第26回動力・エネルギー技術シンポジウム(佐賀県)	7月13～14日 (水～木)	日本機械学会 動力 エネルギーシステ ム部門	03-4335-7615 (03-4335-7619) pesymp2022@jsme.or.jp https://www.ioes.saga-u.ac.jp/ex-event/ PES26/index.html

9th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT9) (福岡県)	7月24～29日 (日～金)	触媒学会	092-802-6711 (092-802-2871) tocat9@catsj.jp https://tocat.catsj.jp/9/
ICYRAM2022(福岡県/オンライン)	8月3～6日(水～土)	日本MRS	092-802-2755 icyram2022@gmail.com https://icyram2022.wixsite.com/official-site
日本混相流学会混相流シンポジウム2022(東京都)	8月19～21日 (金～日)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2022/
The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22) (北海道)	9月11～16日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) ivc22@jvss.jp https://ivc22.org/
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/
第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム/ 英語名: The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates (SynOre2022) (島根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com https://synore2022.com/

化学工学会第87年会 概要

- 会 場：(オンサイト)神戸大学 鶴甲第1キャンパス
(〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2-1)
一部セッションで双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。
(オンライン)化学工学会オンライン学会サイト GOING VIRTUAL
全セッションともオンラインで参加(発表・聴講)いただけます。
- 会 期：2022年3月16日(水)～3月18日(金)
(一部セッションは、会期前日3月15日(火)開催の予定)
- 懇 親 会：実施しません。
- 参 加 登 録 期 間：第三期(含む当日)2022年2月18日(金)～3月18日(金)12:00
大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/87a/>
※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第87年会は、2022年3月16日(水)～18日(金)の3日間、神戸大学 鶴甲第1キャンパスおよびオンラインにて開催されます。(一部セッションで双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程でオンライン併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2022 (ICHES 2022)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、口頭セッションの一部で双方向ライブ配信を併用した「オンライ

ン・オンサイト併用開催」で計画しております。全てのセッションについてオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とします。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第87年会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第三期(含む当日) 2月18日(金)～3月18日(金)12:00まで

開会式等

日時 3月16日(水)9:00～11:40
場所 Z会場

- ◇開会宣言
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会表彰等授与式
- ◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細は、大会webサイトをご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

◇学会賞
Z105(3月16日(水)11:00～11:40)

【池田亀三郎記念賞】

計算科学に基づくナノ空間の化学工学
(京都大学)宮原 稔氏

◇研究賞

K313(3月18日(金)13:00~13:20)

【實吉雅郎記念賞】

非平衡分子動力学法によるマイクロ多孔性膜における分子輸送現象の解明とセラミック多孔膜の開発
(神戸大学)吉岡朋久氏

◇研究奨励賞

O323(3月18日(金)16:20~16:40)

【内藤雅喜記念賞】

多孔質アモルファスシリコン膜を用いた高容量・高安定な次世代二次電池の開発
(金沢大学)坂部淳一氏

J313(3月18日(金)13:00~13:20)

【實吉雅郎記念賞】

Cu基合金体内対流と相分離構造の相関に関する研究
(東北大学)庄司衛太氏

L209(3月17日(木)11:40~12:00)

【玉置明善記念賞】

高速かつ高選択的な水素生成反応を目指したイオン交換樹脂を前駆体とする炭素担持金属触媒開発に関する研究
(京都大学)藤壇大裕氏

J213(3月17日(木)13:00~13:20)

【内藤雅喜記念賞】

ソノケミカルプロセス設計指針構築に向けた基礎現象解明
(東北大学)山本卓也氏

◇技術賞

F213(3月17日(木)13:05~13:25)

一室二段旋回型噴流床酸素吹き石炭ガス化炉開発と166MW IGCCによる実証
(三菱重工業(株))木村 肇氏・(大崎ケルジェン(株))木田一哉氏

◇女性賞

H213(3月17日(木)13:00~13:20)

エンジニアリング会社における環境マネジメント～グローバルな環境要求を満足するために～
(千代田化工建設(株))篠原雅世氏

H214(3月17日(木)13:20~13:40)

酸化物と金属イオンの間の固液界面反応-女子学生との共創-
(日本女子大学)宮崎あかね氏

◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)

C114(3月16日(水)13:20~14:00)

Vapor-Phase Fabrication of Functional Polymers of Coatings and Porous Materials for Regenerative Medicine Applications
(National Taiwan University) Hsien-Yeh Chen氏

D214(3月17日(木)13:20~14:00)

Pickering emulsions with cellulose nano-fibrils for cosmetic applications
(Korea Advanced Institute of Science and Technology, KAIST) Dongwoo Kim氏・Seongsoo Han氏・Siyoung Choi氏

D113(3月16日(水)13:00~13:40)

Molecular design of mixed matrix membranes for CO₂/CH₄ gas separation
(Universiti Teknologi PETRONAS) Serene Lock Sow Mun氏・Lau Kok Keong氏・Shariff Azmi Mohd氏

C208(3月17日(木)11:20~12:00)

Fundamental and development of microreaction technology for the application of fine chemicals synthesis

(Tsinghua University) Jianhong Xu氏

第9回 化学工学ビジョンシンポジウム
「化学工学の未来ビジョンを考えよう」

日時 3月16日(水)12:50~18:00

場所 Z会場

主催 戦略企画会議, VISION2023 レビュー委員会, CSR委員会

共催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会, 戦略推進センター・SDGs検討委員会/次世代エネルギー社会検討委員会/社会実装学研究会/CCUS研究会/AI・IoT委員会

協賛 (一社)人工知能学会(予定), (一社)日本ディープラーニング協会(予定)

本シンポジウムでは、前半で2023年に向けて化学工学が目指してきたビジョンの検証と現在学会内で将来を見据えて活動している内容を紹介し、後半にはこれからの時代の化学工学が何を指すべきかについて熱く語り合う対談企画やCSR委員会での活動を通して、学会のこれからの活動指針について考えます。

12:50~13:00

開会挨拶

(岡山大学)小野 努氏

Z113(13:00~13:40)

[依頼講演]VISION2023のレビュー

(東北大学)北川尚美氏・(九州大学)林潤一郎氏

Z115(13:40~14:00)

[依頼講演]札幌宣言とその実行

(早稲田大学)野田 優氏

Z116(14:00~14:20)

[依頼講演]カーボンニュートラルで化学工学が変わる、化学工学がカーボンニュートラルに挑む

(東京大学)辻 佳子氏

Z117(14:20~14:40)

[依頼講演]化学工学とデータ科学の融合~AI・IoT・DXの視点から~

(東京農工大学)山下善之氏

Z118(14:40~15:00)

[依頼講演]化学工学の新たな教科書「実例で学ぶ化学工学 課題解決のためのアプローチ」

(東京工業大学)山口猛央氏

Z120(15:20~17:10)

[招待講演]対談企画「化学工学×DX思考=新たな社会・産業構造へ」~これからの社会課題に
応える化学工学への転換~

パネラー:((株)ダイセル)小河義美氏・(東京大学)松尾 豊氏・西山圭太氏

Z126(17:20~17:40)

[招待講演]みんなが考える化学工学の未来~第52回秋季大会ワークショップの報告~

(神戸大学)祇園景子氏

Z127(17:40~18:00)

[依頼講演]化学工学と化学工学の新たな価値創造に向けて

(神戸大学)大村直人氏

特別シンポジウム

「2050年 カーボンニュートラルへの道」
(一般公開企画)

日時 3月15日(火)12:55~18:05[会期前日]

場所 A会場

主催 (公社)化学工学学会, 地域連携カーボンニュートラル推進委員会, 戦略推進センター・次世代エネルギー社会検討委員会/CCUS研究会/社会実装学研究会

共催 戦略推進センター・SDGs検討委員会, (一社)触媒学会

協賛 住友化学(株), (株)IHI, 東ソー(株), (株)トクヤマ, 出光興産(株), 日本ゼオン(株), (株)カネカ

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化を進めております。第86年会のビジョンシンポジウム、第52回秋季大会の特別シンポジウムに続き、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月15日午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。なお、会期中、各講演に対する双方向のコメントのやり取りも可能です。参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くの皆様と共に考え、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献したいと考えております。

12:55~13:00

開会の辞

(東京大学/化学工学学会副会長・

地域連携CN推進委員会委員長)辻 佳子氏
A013(13:00~13:40)

[招待講演]物質閉鎖系である地球におけるカーボンニュートラルと我が国の戦略
(早稲田大学)関根 泰氏

A015(13:40~14:20)

[招待講演]国際水素サプライチェーン構築に関する取り組み
(川崎重工業(株))森本勝哉氏

A017(14:20~15:00)

[招待講演]硬殻マイクロカプセル化蓄熱材による潜熱輸送に関する研究
(神戸大学)鈴木 洋氏

A019(15:00~15:40)

[招待講演]産業分野のカーボンニュートラル化に求められる熱利用技術
(アサヒケオリティアーアンドイノベーションズ(株))

川村公人氏

A022(16:00~16:40)

[依頼講演]原価計算情報に基づく製品カーボンフットプリント算定の考え方とそのシステム開発
(住友化学(株))当麻正明氏・横川直毅氏・大澤宏規氏・真鍋沙希氏・林 真弓氏

A024(16:40~17:20)

[依頼講演]社会イノベーションと科学技術-社会が変える技術、技術が変える社会についてカーボンニュートラルを例に考える-

(横浜国立大学)野口和彦氏

17:20~18:00

パネルディスカッション

(信州大学)古山通久氏

18:00~18:05

閉会の辞

国際シンポジウム

◇Recent Researches on Material Structure Control Technology for Functional Expression
Date/Time Mar. 16 13:20~17:00

Room Hall C

Organization Division of Materials and Interfaces

This is an international symposium on cutting-edge technology for material structure control and their applications. We invite Prof. Hsien-Yeh Chen of

National Taiwan University who has won 2021 The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer for the keynote speech of this symposium. We also invite domestic and foreign researchers working on the synthesis of porous organic-inorganic materials to discuss about the hierarchical structure control for functional expression. We hope this symposium will be fruitful and contribute to discuss the recent progress in design of advanced materials for application to separation, catalytic reaction, energy devices, electronics, and so on.

◇CO₂ Separation and Utilization in Aseania 2022

Date/Time Mar. 16 12:50 ~ 17:05

Room Hall D

Organization Division of Separation Processes, Division of Systems, Information and Simulation Technologies

Development of CO₂ separation technologies are accelerated around the world to eliminate CO₂ emissions by 2050. This is an international symposium for the development of membranes and membrane processes for CO₂ separation. Dr. Serene Lock Sow Mun, who have been awarded "The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer 2021", are invited to give a plenary lecture. Researchers working on development of advanced membranes and membrane processes for CO₂ separation are also invited to discuss widely fundamentals and applications of CO₂ separation membranes. We hope this symposium will contribute to develop powerful CO₂ separation processes using membrane technology.

◇Supercritical Fluid Division 20th Anniversary International Session

Date/Time Mar. 16 15:30 ~ 18:00, Mar. 17 9:00 ~ 11:00

Room Hall E

Organization Division of Supercritical Fluids

The Supercritical Fluid Division will hold an international session in commemoration of the 20th anniversary of the Supercritical Fluid Division by inviting overseas researchers on supercritical fluid technology. World authorities in the fields of supercritical fluids from North America and Europe will attend the session and explain the research and development trends of supercritical fluids in their countries. The session will also include presentations on the status of research and development in each field.

◇Recent Research and Development of Micro Chemical Process and Synthesis

Date/Time Mar. 17 9:00 ~ 12:00

Room Hall C

Organization Division of Chemical Reaction Engineering

This session focuses on research and development of micro chemical process and synthesis in recent years. We will invite Prof. Jianhong Xu from Tsinghua University (2021 Winner of The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer) and some outstanding researchers.

◇Materials Development Innovated by Fluid Flow

Date/Time Mar. 17 10:35 ~ 15:45

Room Hall D

Organization Fluid & Particle Processing Division, Division of Materials and Interfaces

For the innovative manufacturing process of highly functional materials, the utilization of fluid flow in the equipment is essential. In this symposium, the organizers welcome the contributions about the material

productions with the consideration of fluid flow as well as the fluid dynamics studies for producing materials.

◇Advances in Downstream Processing of Biologics

Date/Time Mar. 17 15:00 ~ 18:00

Room Hall C

Organization Division of Biochemical Engineering

Co-sponsor Asian Federation of Biotechnology (AFOB) Bioprocess and Bioseparation Engineering Division

This symposium will focus on recent advances in downstream processing of biologics. We will discuss on current problems and future directions.

◇The Cutting-Edge Environmental Biotechnology: Challenges for Sustainable Society and Global Warming

Date/Time Mar. 18 9:00 ~ 11:45

Room Hall D

Organization Division of Environment, Division of Biochemical Engineering

We are facing grand challenges in the nexus of food, climate, and water. As an engineer in environmental and biochemical engineering, of importance are to transfer ground-breaking discoveries and develop innovative technologies applicable to low-carbon-footprint purification technologies, energy airtarky wastewater treatment, mitigation of greenhouse gas emissions, and production of valuable compounds from wastes. Given substantial progress on analytical tools looking into microbial resources in natural environments, surprising discoveries on the functions of unexplored microorganisms have been reported. This symposium invites leading researchers working in the field and discusses the significance of managing and harnessing microbial communities for water reuse/recycle, sustainable society development, and global warming mitigation.

化学産業技術フォーラム

◇化学装置の高経年化と余寿命評価、および補修による寿命延長

日時 3月17日(木)午前(予定)

場所 H会場

日本の化学プラントは高経年化が進んでおり、その装置を如何に寿命延長しながらも安全に操業していくかがカギとなっています。化学装置材料部会で議論してきた材料の余寿命評価と、補修材を利用した寿命延長に関わる話題を中心に、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

産業セッション

日時 3月17日(木), 18日(金)

◆口頭セッション

◇日本の産業を支える技術イノベーション

日時 3月17日(木)9:00 ~ 12:00

場所 F会場

化学産業界は、人々の「健康、安心、幸福」の推進と改善を目指す必要があり、「Efficiency」から「Sufficiency」への変革が求められています。特に、新型コロナウイルス感染症のまん延も契機となって、DX技術の推進が目覚ましく、局所的なデジタル化や業務プロセスの改善に留まらず、ビジネスモデルや組織変革レベルにまで影

響を及ぼしています。そこで本セッションでは、「AI、DXの導入」を念頭にテーマを選定し、最新技術を紹介いたします。

◇カーボンニュートラルに貢献する二次電池 ~ 開発、実用化、リサイクル、そして将来展望 ~

日時 3月17日(木)13:30 ~ 17:10

場所 F会場

持続可能な地球環境に向けて世界で脱炭素の流れが加速しています。日本でも2050年カーボンニュートラル実現が宣言され様々な取り組みが始まっている中、非化石エネルギーへの転換や再生可能エネルギーの普及において蓄電は重要な技術です。

本セッションでは、脱炭素化に大きな貢献が期待される二次電池について、最新の技術動向と今後の展望、材料開発、プロセス開発、リサイクル技術、またEV化が進む自動車業界における展開を紹介いたします。

◇「化学関連産業の経営課題」

— 2050年の化学関連産業を考える — ~カーボンニュートラルを目指して~(一般公開企画)

日時 3月17日(木)13:00 ~ 17:30

場所 G会場

新型コロナウイルスは、新自由主義経済がもたらした「地球温暖化」と「経済格差」問題をクローズアップしました。特に世界中で多発する異常気象による災害は、「地球温暖化」への早急な対応を世界に求めており、我が国でも喫緊の課題となっています。この課題は化学産業にとっては死活問題ともなりかねず、2050年を見据えた企業の舵取りが重要になっています。今回は、「新しい資本主義社会」を念頭に、企業環境の変化、世界の動向、先進的な企業の紹介などを通じて、我が国の化学関連産業の2050年に向けた長期展望を議論します。

◇炭素資源循環を目指す化学産業の挑戦

日時 3月18日(金)9:00 ~ 12:00

場所 F会場

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて社会の関心が高まっており、化学産業界にはイノベーション創出による課題解決が期待されています。本セッションでは、化学産業界としての考え方、およびメタネーション、化繊リサイクル、容器リサイクルに関するイノベーションを紹介し、今後の方向性を見出す契機としたと考えます。

◇将来を見据えたデジタル技術活用による現場力アップの取り組み

日時 3月18日(金)12:55 ~ 17:10

場所 F会場

本セッションでは、研究開発、生産、物流などモノづくり現場や、プラント建設、設備メンテナンスの現場での課題について、生産効率化やシミュレーション、装置とプロセスの最適化や自動化、通信における5Gの世界を含めた最先端デジタル技術の具体的な活用事例や安全の視点から設備の保守点検、評価に役立つプラントの老朽化の事例を紹介いたします。

◇忘れてはいけない単位操作—(新たな価値を創造する粉体技術)—

日時 3月18日(金)13:00 ~ 17:10

場所 G会場

化学工場のプロセスは、基本的な単位操作の組み合わせです。しかし、現実のプロセスでは教科書に載っている単位操作概論では対応できない事象が数多くあります。そのような中で、各社の対応例や最新技術を紹介していただきます。今回のテーマは多くの基本的な単位操作が含まれる「粉体ハンドリング」です。

◆ポスターセッション

◇忘れてはいけない単位操作—(新たな価値を創造する粉体技術)—

日時 3月18日(金)13:00～17:10
場所 G会場

異分野合同セッション

◇データ駆動型研究開発の先端動向

日時 3月17日(木)10:40～16:40
場所 B会場

実験科学、理論科学、計算科学に続く第4の科学としてデータ科学が近年急速に発展してきました。データ科学によって先導されるデータ駆動型社会を早期に実現することが国際的な協力のカギとして認識されています。本シンポジウムでは、多様な観点からデータ駆動型社会に向けて先駆的な取り組みをしている講演者に講演いただき、これからの研究開発について議論します。

◇循環型社会実現のための結合・分解の精密制御に向けた動静脈分野連携・融合の促進(一般公開企画)

日時 3月18日(金)13:00～17:05
場所 B会場

主催 (公社)化学工学会

共催 環境部会、分離プロセス部会、材料・界面部会、科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター(CRDS)

材料や製品の新たな機能や利便性を追求する一方、プラスチックなどの汎用品の廃棄に伴う環境負荷への影響、炭素繊維強化プラスチックなどの先端材料の廃棄物問題への懸念が高まっています。従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から脱却し、持続可能な循環型社会の実現に向け、材料の使用時から使用後の流れを意識した材料開発が求められています。2021年3月にJST-CRDSが発行した戦略プロポーザルにおいては、上記の研究開発を行う上で、材料科学、化学、物理学、計算科学、データ科学、プロセス工学、リサイクル工学、分離工学といった異なる学術的背景と研究動機を持つ動脈(材料創製)・静脈(分離・分解・リサイクル)分野の研究者が、「結合・分解の精密制御」を共通目的に連携・融合した研究体制を構築することが重要であることが指摘されています。また、同時期に文部科学省から発表された戦略目標では、結合・分解の精密制御を達成し、安定性と分解性の自在制御を可能にするサステナブル材料を開発することを目的に掲げています。翌4月には当該戦略目標下に設定されたJST戦略的創造研究推進事業CRESTおよび先駆けが発足し、10月より具体的な研究開発が開始されています。更に、内閣府マテリアル革新力強化戦略においても、バックキャスト型研究で取り組むべき技術領域の一つとして「マテリアルの高度循環のための基盤技術」が挙げられています。このように循環型社会実現のための結合・分解の精密制御に向けて国として大きく舵をきり始めている中、動脈分野と静脈分野の研究者間の交流は緒についたばかりです。そこで本シンポジウムでは、動脈分野と静脈分野のより緊密な連携・融合研究を促進することを目的に、関係する研究者が一堂に会し、互いの最新技術動向の紹介・意見交換を行います。

戦略推進センター SDGs検討委員会企画
「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行—多様な人材が活躍する未来の化学工場—」
(一般公開企画)

日時 3月17日(木)13:00～17:00
場所 E会場

共催 男女共同参画委員会、地域連携カーボンニュートラル推進委員会

協賛 (一社)日本化学工業協会、(公社)新化学技術推進協会

後援 国際連合工業開発機関(UNIDO)、日本学術会議

化学工学会は、2019年9月APCChE2019において「国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—」と題する札幌宣言(和訳)を発表しました。札幌宣言では、SDGsを共有ビジョンとし、EfficiencyからSufficiencyへ、すなわち効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革を謳っています。化学工学会はこの宣言を学会内外に広め、実行に移すべく議論を重ねてきました。

持続可能な社会の実現に向けた取り組みの中でも、カーボンニュートラル対応への変革が化学産業の喫緊の課題となっています。効率のみを重視すると、例えば工場を再エネ豊富な海外へ移すという答えに行き着くかもしれません。本シンポジウムでは、地域社会との共生や、多様な人材の活躍と働きがいという充足性の観点も取り入れ、未来の化学工場の在りたい姿を議論します。講演に続けて、サブテーマ毎にグループに分かれて参加型のワークショップを実施します。双方向でのインタラクティブなシンポジウムを一般公開で開催します。

男女共同参画委員会企画
「ダイバーシティフォーラム」
(一般公開企画)

日時 3月17日(木)13:00～16:00
場所 H会場

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。引き続き、「ナノマテリアルと生体機能分子の空間デザイン」をテーマに、関連研究分野で活躍する研究者・技術者による招待・依頼講演を行います。女性研究者、海外からの研究者、海外での研究経験者の講演を通して、創造的な研究・技術開発の場を如何にしてつくるか、持続可能な社会におけるグローバル人材の育成の視点から皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

戦略推進センター CCUS研究会企画
「CCUS研究会シンポジウム
～CO₂資源化の動向と展望～」

日時 3月18日(金)9:00～15:05
場所 E会場

本シンポジウムでは、カーボンニュートラル実現に向けた「CO₂分離回収・資源化」において、特に、基幹物質であるメタン・メタノール等に焦点を当て、技術開発、プロジェクト、ビジネスに係る動向について概観します。更に、当該技術を実効性のある地球温暖化緩和策として普及させるための方法論や戦略を含めた議論から、早期社会実装ビジョンの共有を目指します。

「若手研究者が考える未来の化学工学研究」
(一般公開企画)

日時 3月18日(金)13:00～17:00
場所 C会場

化学工学を取り巻く環境は、様々な観点から大きく変化しつつあります。それは産業・学術的なことのみならず、研究者と学会との関わり方ということをも含むかもしれません。手法の学問である化学工学が貢献できる対象分野は益々広がると考えて間違い無いと思いますが、化学工学に新しい考え方をフィードバックすることも忘れるべきではありません。様々な分野における先進的な学術アプローチを横断的に俯瞰し、未来の化学工学研究を更なる高みへと発展させる糸口を掴めないでしょうか。本シンポジウムでは全国で活躍する若手化学工学技術者・研究者が参集し、発表者・聴講者間での双方向の意見交換を通じて未来のホットトピックスを探ります。更に、将来に向けた人脈づくりの場を提供します。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時 3月16日(水)午後(予定)
場所 H会場

粒子・流体プロセス部会のセッションとして、部会賞受賞記念講演を行います。

参加登録に関する注意事項

◇大会会場(神戸)ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場(神戸)ご来場予定をお尋ねいたします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期、第二期は2月16日(水)で終了しております。第三期(含む当日)は2月18日(金)～3月18日(金)までwebにてお申込みいただけます。第二期および第三期では同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子や講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払いはできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨集を追加登録、はできません。また、第一期や第二期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内いたしますので、そちらに従って手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該

web ページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払いが確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払いください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部 (<https://www.scej.org/>) をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2022年度(2022年3月～2023年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は参加登録時にお申込みいただければ、無料で郵送いたします。ただし、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を公開予定ですので、郵送を申込まれなかった方および未着の方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者:3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送いたします。ただし、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無に関わらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には講演プログラム集冊子(希望者のみ:お届けします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	第三期(2/18～当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	12,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
海外正会員	12,000円	
海外連携会員	12,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	15,000円	不課税
懇話会会員	15,000円	
部会個人賛助会員	15,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	15,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会, CIESC:中国化工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, KICChE:韓国化学工学会, TwIChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	30,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

問合せ先

TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時～17時

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ

京王観光(株)東京中央支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者:土橋(どばし), イム, 國分(こくぶん))

◇その他に関するお問合せ

化学工学会 第87年会 実行委員会
E-mail: inquiry-87a@www3.scej.org

International Chemical Engineering Symposia 2022 (IChES 2022) 概要

会場：(オンサイト)神戸大学 鶴甲第1キャンパス
(〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2-1)
一部セッションで双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。
(オンライン)化学工学会オンライン学会サイト GOING VIRTUAL
全セッションともオンラインで参加(発表・聴講)いただけます。

会期：2022年3月16日(水)～3月18日(金)

共催：Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE)

大会WebサイトURL：<http://scej.org/iches2022/>

International Chemical Engineering Symposia 2022では、第87年会の一部でもある国際シンポジウムの7つのセッションを3月16日(水)から

18日(金)に、IChES 2022一般研究発表を3月18日(金)13:20～16:00に行います。
詳細は、大会webサイトをご覧ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される第87年会へもご参加いただけます。

2022年度化学工学会賞候補者の推薦について

推薦締切 学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・女性賞・フェロー表彰・教育賞：2022年5月15日
功労賞：2022年8月31日

2022年度化学工学会賞(学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・功労賞・女性賞・フェロー表彰)の受賞候補者を会員各位より、下記募集要項をご留意の上ご推薦いただきたく存じます。

(アジア国際賞は、推薦締切が2月15日となり、webサイトにて推薦ご依頼申し上げます。)

なお、推薦方法の詳細及び推薦書はWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)をご参照ください。

募集要領

1. 対象となる業績と候補者の資格

A. 学会賞

本会正会員であって、化学工学に関する優れた研究を行い、学術上特に大局的に顕著な業績のあった個人。(ただし、過去に研究賞を受賞した者は受賞してから満5年を経過しないと推薦を受けることはできない。)

B. 研究賞

本会正会員が行った化学工学に関する新規性に富む優れた研究、もしくは特に完成度の高い優れた研究で、学術論文誌に発表されたもの。ただし、本学会誌掲載論文があることが必要。受賞者は個人もしくは3名以内の共同研究者。

C. 研究奨励賞

2022年4月1日現在において満35歳未満の本会正会員であって、化学工学に関する優れた独創性・萌芽的研究を学術論文誌(本学会誌に限らない)またはproceedingsに発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

D. 技術賞

本会正会員あるいは本会維持会員または特別会員である法人に所属する技術者であって、化学工学に関する技術または化学関連産業の技術に関して特に業績のあった個人もしくは5名以内の共同研究・開発者。

E. 技術奨励賞

2022年4月1日現在において満38歳以下の本会正会員であって、化学工学または関連産業に関わる主として技術上の優れた業績をあげ、学術論文誌、特許、技報などで対外に発表した個人、または本会の年会・秋季大会・支部大会等で発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

F. 女性賞

化学工学または化学関連産業に関わる技術上の優れた業績をあげた、あるいは化学工学に関する優れた研究を行い、かつ男女共同参画推進のための制度や環境の整備に貢献した個人。

G. 功労賞

①教育功労賞

本会正会員に限らず、化学工学およびそれに関連する基礎教育に従事し、教育上顕著な業績または功績のあった個人。本賞は、高校、工業高校、高専、および大学関係者等個人を対象とするが同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

②研究功労賞

本会正会員に限らず、化学工業技術に関連

する業務に当たり、装置、器具の開発・改良、特殊技能およびデータの取得・整理などを通して、研究支援に貢献のあった個人。本賞は、高専、大学、および企業関係者等個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

③学会活動功労賞

本会正会員、または本部、支部の職員(元職員、嘱託に準ずる者を含む)であって、支部、地区懇話会、あるいは本部の諸委員会での活動、会員増強などの学会活動を通じて、本会の発展に貢献のあった個人。

④国際功労賞

本会正会員に限らず、化学工学関係の国際会議等の運営及び海外関連学協会との交流・運営に貢献を行った個人。

H. フェロー表彰

推薦時に化学工学に20年間以上関わっている正会員である者、あるいは10年以上本会に在籍する正会員(学生会員期間は除く)、および会長が推薦する正会員個人で、化学工学ならびに本会の発展に貢献し、今後も寄与する個人。

I. 教育賞

本会正会員であって化学工学に関する優れた教育(講義、演習、実験等)を教育機関、産業界あるいは学会で実践している個人もしくは複数の共同実施者に贈与されます。

2. 表彰の件数

A. 学会賞	2件以内
B. 研究賞	3件以内
C. 研究奨励賞	5件以内
D. 技術賞	5件以内
E. 技術奨励賞	5件以内
F. 女性賞	2件以内
G. 教育・研究・学会活動・国際功労賞	各2件以内
I. 教育賞	5件以内

3. 表彰の内容

A. 学会賞	賞状及び池田賞
B. 研究賞	賞状とメダル
C. 研究奨励賞	賞状とメダル
D. 技術賞	個人に賞状とメダル、代表者の属する法人に記念牌
E. 技術奨励賞	賞状とメダル
F. 女性賞	賞状と記念品
G. 功労賞	賞状と記念品
H. フェロー表彰	化学工学会フェローの称号

I. 教育賞 賞状と記念品

4. 表彰は、2023年開催の本会表彰式において行う。

5. 推薦

(1) 学会賞・研究賞・研究奨励賞は、正会員の推薦による。推薦件数は、各賞につき正会員は1名あたり1件とする。技術賞は、維持会員、特別会員、支部長、部会長または地区懇話会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内、懇話会長は1件とする。技術奨励賞は、維持会員、特別会員、支部長または部会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内とする。女性賞は、維持会員、特別会員、正会員の推薦による。推薦件数は、各会員1件とする。フェロー表彰は、会長、維持会員、支部長、部会長、名誉会員または正会員の推薦による。なお、正会員は3名以上の連名による推薦とする。教育賞は(1)本会正会員、或いは、化学工学系の学科または大学院専攻を取り纏める責任者(学科長/専攻長に相当)の推薦による。

(2) 教育功労賞は、支部長または人材育成センター長の推薦とする。研究功労賞は、維持会員または特別会員の代表者、支部長、または部会長の推薦による。学会活動功労賞及び国際功労賞は、支部長、部会長または常置委員会委員長の推薦による。推薦件数は、各賞とも1件とする。

(3) 本会で定めた推薦方法に従い、本人の了解を得た後、所定の書式による推薦書一式(電子ファイル)をWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)内の推薦要項に従い、本会宛に5月15日までにアップロードして提出してください。

(4) 推薦された候補者は、所定の書式による選考資料一式(電子ファイル)をWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)内の推薦要項に示されている手順に従い、6月30日までにアップロードして提出してください。

6. 問合せ先

公益社団法人化学工学会
表彰委員会担当
TEL: 03-3943-3527
E-mail: soumu@scej.org

部 会 C T

第22回反好会(反応工学部会若手会) 講演会(オンライン開催)

主催 化学工学会反応工学部会・反好会

化学工学会第87年会の前日に反好会講演会をオンライン開催致します。各会、多くの皆様から好評いただいています。年会でのご発表予定のない方もご参加いただけます。ぜひお気軽にお申し込みください。化学工学系学生を含め、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2022年3月15日(火)15:00~17:40

開催方法 Zoom ミーティングで開催致します。

(申し込み頂いた方にミーティング参加方法、

資料ダウンロード方法を別途ご案内致します。)

研究講演

「スラグ流を反応場とした単分散高分子微粒子のフロー合成」

岡山大学 渡邊貴一氏

「カーボンナノチューブフォレストの形態制御合成と応用」

近畿大学 杉目恒志氏

「反応場・反応系の制御によるプロセスの設計」

東北大学 廣森浩祐氏

注意事項

★本講演会は無料でご参加いただけます。

★すべての発表の録画、録音および配布資料の

無断での転載、複写、第三者への提供を禁止致します。

★反好会HPからも情報をご覧ください。

申込締切 3月8日(火)

お申込・お問合せ先

参加をご希望の方は、「反好会HP」よりお申し込みください。

反好会HP: <http://www2.scej.org/cre/wakate/index.html>

反好会代表幹事 百瀬健(東京大学)

E-mail: momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp

地 域 C T



九州支部

第59回化学関連支部合同九州大会

主催・共催 日本農芸化学会西日本支部ほか7
化学関連支部

日時 2022年7月2日(土)9:00~17:00(予定)

会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野
3-9-30)

(交通)JR小倉駅より徒歩5分

発表申込期間 3月1日(火)~4月8日(金)

予稿原稿締切 5月13日(金)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。
ほか依頼講演(8件、各支部推薦)。

発表申込方法 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) から、指示に従って、以下の申込必要事項をお送り下さい。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は、本合同大会事務局(日本農芸化学会西日本支部) (godo22.jsbbaw@gmail.com) にお問い合わせ下さい。

申込必要事項: 1) 発表分野, 2) 発表題目, 3) 発表者所属機関の略称, 4) 発表者氏名(登壇者の前に✓印), 5) 学生の場合は、研究室名、指導教員の氏名とE-mailアドレスも記入, 6) 発表者の所属学協会(申込中を含む、複数可), 7) 発表者の学年・職

なお、発表分野は下記のいずれかをご指定下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学,
(4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学

予稿原稿(約800字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは、大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) で公開します。執筆要項に従って作成し、PDFファイルに変換したものを大会HPに記載の方法で投稿して下さい。

注1: 大学院進学などでメールアドレス変更の場合は、大会HPマイメニューより、ご変更下さい。

注2: 例年、多くの修士1年生にご発表いただきますが、申込内容等の不備(連絡先間違いや単著での申込み)が多くあります。指導教員の先生におかれましてはご指導のほど、お願い申し上げます。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は、ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む。当日受付にて、お支払い下さい)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求め下さい(1冊:1,500円)。

授賞式・懇親会 7月2日17:30(予定)北九州国際会議場近隣の会場にて。会費:4,000円(当日、懇親会会場にてお支払い下さい)。※ポスター発表受賞者は会費無料となります。

問合先 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 W5-648

第59回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長:中山二郎(九州大学)、担当:善藤威史(九州大学))

E-mail: godo22.jsbbaw@gmail.com

TEL: 092-802-4736

なお新型コロナウイルスの感染状況により、プログラム、懇親会実施有無を変更する場合があります。更に、オンラインにて開催する場合があります。

依頼講演会[順不同]

依頼講演 高分子学会九州支部推薦

「分子修飾により機能化されたカーボンナノチューブが示す近赤外発光特性」

白木智丈(九州大学)

依頼講演 繊維学会西部支部推薦

「バイオベースポリマーゲルの形態自己形成とその応用」

成田貴行(佐賀大学)

依頼講演 化学工学会九州支部推薦

「モノマー配列が規定されたプラスチック抗体の開発」

星野 友(九州大学)

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

「溶存イオンのハンドリング~放射性金属イオンの精製・高純度イオン液体の合成~」

大平慎一(熊本大学)

依頼講演 電気化学会九州支部推薦

「中温型電気化学セルを用いた窒素やCO₂からのアンモニアやメタンの合成」

久保田純(福岡大学)

依頼講演 有機合成化学協会九州山口支部推薦

「有機電解合成のすゝめ」

畠越 恒(九州大学)

依頼講演 日本化学会九州支部推薦

「光学異方性を示す試料の円二色性と円偏光蛍光解析」

原田拓典(大分大学)

依頼講演 日本農芸化学会西日本支部推薦

「有機ヘテロ元素化合物の遷移金属触媒合成と生物活性」

有澤美枝子(九州大学)